

タイトル	一校一国運動 イギリスとの国際交流
名称（学校・地域）	長野市立 古牧小学校
日時・場所等	訪英 10月 交流活動 年間を通じて
ホームページアドレス	http://www.nagano-ngn.ed.jp/komakijs/

1、国際社会に生きる人材の育成

古牧小学校では、長野オリンピックの一校一国運動から続く国際交流を継続させ、国際都市長野に育つ子どもたちに国際交流を通し、言葉、食生活など様々な文化の違いを学び、国際社会に生きる人材となつてほしい願い国際交流を続けている。イギリスの学校とは、平成16年に国際親善クラブからの紹介を得て交流が始まり、本年度で10年目になる。クロップウェルビショップ小学校の校長先生、交流を支えて下さっているロンドンのジャパン21、ノッティンガムにお住まいの日本人の方などのお力を得て行われている。他にも、イギリスのホカリル高校のホームステイの受け入れや学校での交流も行っている。

2、訪英によるイギリスとの交流

- ①高学年各クラスで考えて日本文化を紹介し、イギリスについて学ぶ。・・・イギリスへのお土産として、各クラス話し合い日本文化を紹介するメッセージを画用紙にまとめ、お土産としてイギリスの学校に持っていき紹介した。また、児童会の空き缶収集集で得たお金で、英訳されたドラえもののマンガや折り紙をもって行った。また、PTAの方からも補助をいただき、日本らしい絵などを学校にプレゼントした。イギリスを知ろう週間では、交流委員会の児童が、イギリスについてのクイズや発表を全校集会で行ったり、各クラスでもイギリスについて調べ学習などを行ったりしている。
- ②イギリスについての学習・・・訪英前に、火曜日の放課後を使い8回ほど事前学習を行ってきた。イギリスについての学習や使う場面を想定した英語の学習などを行った。また、現地で「上手でなくても、伝えようとする気持ちをもって英語を使ってみよう。」という目標を設定し、自己紹介、折り紙の折り方、学校の紹介などを英語で説明できるように準備していった。
- ③クロップウェルビショップ小学校、バートンジョイス小学校の訪問・・・6年生6人、5年生4人が、イギリス中部のノッティンガム近くのクロップウェル村のクロップウェルビショップ小学校やバートンジョイス小学校を訪問し、日本の文化を伝えようとイギリスの子どもたちと次の学習を行った。また、全校の集会では、学校の紹介やアナと雪の女王の歌、組体操など全校の前で披露した。それぞれの学校で、温かな歓迎を受け、様々な体験を通して素晴らしい体験をすることができた。



古牧小学校に戻って、訪英報告会を行った。その際の代表児童の訪英の感想である。

今回の訪英は11年間生きてきた中で、最も貴重な経験となりました。そして多くのことを学びました。また、自分自身が変わったところが3つあります。第1に、イギリスに行つて自分に自信がついたことです。ホームステイ1日目は英語が通じず困ってしまいました。ジェスチャーを使って、なんとかカバーしてコミュニケーションをとりました。5日間滞在して、ファミリーとの関係がとても良いものとなり生活にも慣れました。自分で考え、すすんで行動に移すことで、今まで無かった自信ができました。第2に、人と人とのつながりが大切なことを改めて感じました。クロップウェルビショップ小学校の児童の皆さんから、日本語であいさつをしていただいたり、教室の中に日本語でぼくたちを歓迎する文字や飾り付けがあつたりして感激しました。温かい歓迎を受け、ぼくたちも一生懸命、学校紹介や日本の文化を届けました。国が違つても、言葉がうまく通じなくても、相手のことを考える気持ち、それが人と人をつなぐ大切なことだと思います。第3に自分自身が成長したことです。初の海外での10日間の旅、親元を離れてさみしいときもありましたが、とにかく自分でがんばりぬきました。(中略)日本では経験できないことをたくさん学ばせていただきました。この訪英での学びを、今後の自分に生かして生きたいことと、この学びを古牧小のみなさんに伝えたいと思っています。(後略)

帰国後、5年生が自己紹介付きの年賀状と日本のお正月の紹介したもの、しめ縄などを送った。今後も、テレビ会議やビデオレターの交換など様々な交流を計画している。イギリスの小学校には、日本語クラブも開設されている。